

食料品の値上げ続く

エネルギー・資材・
長引く円安も要因

東京商工リサーチが8月

31日に発表した国内の主要

飲食品メーカー200社

を対象にした調査による

と、アイスキャンディーや

中華まん、餅など季節食材

の値上げが続くことが分か

りました。

残響が厳しい9月に「ガ

ツン」とみかん(赤城乳業)

の氷菓や「コアラのマー

チ(ロッテ)などのチョコ

レート菓子の値上げ、内容

量の変更を実施。菓子類の

値上げが相次ぎ、東京商工

リサーチは「子育て世帯へ

の家計への負担増が懸念さ

れている」としています。

冬向け商材でも新宿中村屋

が肉まんをはじめとした中

華まん、サトウ食品や越後

製菓などが饅餅や切り餅の

値上げを表明しています。

8月の飲食品品値上げは

949品で、3カ月ぶりに

1000品目を下回りまし

た。一方で9月は23887

品、10月は4062品の値

上げが公表されています。

今年1月以降の値上げ品

目は、累計で3万1024

品。品目別の最多は調味料

(8673品)で、秋冬商材

の鍋つゆ類値上げのほか、

昨秋から継続的に品薄傾向

の、だし原料も年内の値上

げが懸念されています。

理由別のトップは「原材

料」の2万9007品で、

「資源・燃料」(2万54

88品)、「物流」(2万42

4品)と続きます。東京商

工リサーチは、エネルギー

価格や資材・包材価格の上

昇に加え、長引く円安も値

上げ機運を高める要因だと
指摘しています。